

三陸は 新たな夢を ともに紡ぎ始めた。



岩手県
知事
達増 拓也
(たつそ たくや)



名古屋市
市長
河村 たかし
(かわむら たかし)



陸前高田物産センター
種坂 奈保子
(たねさか なおこ)



フォトグラファー
安田 菜津紀
(やすだ なつぎ)



関西大学
教授
与謝野 有紀
(よさの ありのり)



陸前高田スマイル番屋「環」
船砥 千幸
(ふなと ちゆき)



トヨタ紡織株式会社
総務部CSR推進室室長
高井 智幸
(たかい ともゆき)



特定非営利活動法人 NPO愛知ネット
理事長
天野 竹行
(あまの たけゆき)



～ご支援への心からの感謝を～

いわて三陸復興フォーラム in 名古屋

2013.12.19(木) 14:00-16:50(予定) 愛知県女性総合センター「ウイルあいち」

「応援します!!東北!陸前高田市! ~行政丸ごと支援~ 市民交流」



名古屋市長
河村 たかし (かわむら たかし)

東日本大震災により甚大な被害を受けた陸前高田市を、名古屋市の持つ総合力で「行政丸ごと支援」という全国初の取組みを進めている。これをきっかけとし「陸前高田市の子どもたちを招待するプロジェクト」を立ち上げ、市民や企業等の寄付金や協力により420名の中学生を招待した。名古屋市立大学看護学部は陸前高田市を設ける医療支援や、名古屋市内に「いわて・陸前高田復興支援産直プラザ」を開設し、市内での販路拡大に努めるなど産業支援にも尽力し、陸前高田市の復興を下支えしている。

パネルディスカッション「参画とつながりで本格復興を！」



コーディネーター
特定非営利活動法人 NPO愛知ネット
理事長 **天野 竹行** (あまの たけゆき)

愛知県生まれ。名古屋工業大学院工学部卒(修士)1999年特定非営利活動法人NPO愛知ネット設立。以来災害時の情報支援NPOとして活動を続けている。2004年に起きた、新潟県中越地震において、愛知中越支援ネットワークの幹事団体、翌年幹事団体代表として内閣府防災担当大臣より防災功労者表彰を受ける。また、東日本大震災においては、岩手県住田町を拠点に、気仙地区をフィールドに現在も活動中。愛知県河川情報周知戦略アドバイザー会議委員、安城市地域情報化推進協議会会長など歴任。

パネラー紹介

多くの人が参加し、そしてつながっていくことで、三陸の復興は加速していきます。パネラーたちの言葉に耳を傾けてください。



フォトグラファー
安田 菜津紀 (やすだ なつぎ)
神奈川県生まれ。studio AFTERMODE所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在は、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材活動を行っている。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災地を記録し続けている。



陸前高田物産センター
種坂 奈保子 (たねさか なおこ)
愛知県出身。震災後、NPO団体より陸前高田「未来商店街」に派遣され着任。出店者会議や集客イベント運営に携わる。派遣任期が切れた後、陸前高田市に残ることを決意し、「いわて復興応援隊」の一員となる。その後、第3セクター陸前高田地域振興に派遣され、売り場やネットショップ運営を担当。将来的には商品開発に携わりたいと意気込む。



陸前高田スマイル番屋「環」
船底 千幸 (ふなと ちゆき)
大船渡市崎浜出身。陸前高田市で被災。高田高校正門前の自宅から家族全員で高台に逃げ切った体験をもとに現地津波語り部として活動。また広田湾での養殖体験プログラムの企画・実施で迎え入れた全国の方々から招かれ、東京、東海、関西まで広く減災・防災の講演なども行っている。陸前高田浜のミサンガ生産者協議会リーダー。



関西大学
教授 **与謝野 有紀** (よしの ありのり)
専門は社会階層論、数理社会学。これらの研究で、数理社会学論文賞などを受賞。文部科学省助成事業「関西大学・社会的信頼システム創生センター(STEP)」のセンター長として、地域活性化に対する社会的信頼の機能の実証的研究を推進中。大船町の雇用創出事業SHIP、ICTによる高校生の学習支援事業KUPIDOなど研究成果の具体的展開を行っている。



トヨタ紡織株式会社 総務部CSR推進室
室長 **高井 智幸** (たかい ともゆき)
酔仙酒造(陸前高田市)の新工場建設では設計段階から参画。効率的な工場レイアウトや人やモノの流れなどに関するアドバイスをを行った。完成した「大船蔵」では、原料や製品が最短ルートで移動でき、従業員の負荷が軽減できる工場レイアウトを実現。その後も意見交換、勉強会などを通して、さらなる製造工程の効率化を目指している。

全体スケジュール

- ★14:00 オープニングVTR
- ★14:05 開会
- ★14:06 基調報告 岩手県知事 達増拓也
- ★14:26 基調講演 名古屋市長 河村たかし
- ★14:56 感謝の品贈呈 (休憩)
- ★15:10 パネルディスカッション
- ★16:50 閉会

オープニングVTR

陸前高田からのビデオメッセージ

戸羽太市長をはじめ、陸前高田市の市民から名古屋市の皆様へ、心からのありがとうの気持ちを伝えます。



パネル展示コーナー

安田菜津紀 復興写真展

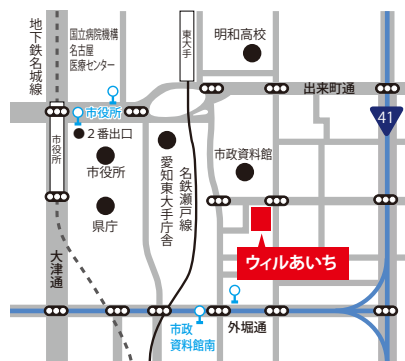
パネラーとして出演する安田菜津紀さんの写真展を開催。震災直後から撮り続けてきた陸前高田の2年間をご紹介します。

いわてGINGA-NET 活動紹介

被災地の要支援ニーズと学生のボランティアニーズを効果的に結びつけるために結成された「いわてGINGA-NETプロジェクト」の活動を紹介します。

開催場所マップ

地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分
 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
 基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分



定員 400名 締め切り 12月16日(月)【定員になり次第締め切り】
 メールまたはFAXで受付の上、聴講券をお送りします。応募多数の場合は先着順となります。

問い合わせ 開催事務局:岩手日報社広告局広告部「いわて三陸復興フォーラムin名古屋係」TEL019-653-4111へ
 (9時30分~17時、土・日・祝日を除く)

申し込み FAXの場合は、参加申し込み書に記入の上、FAX019-626-1881開催事務局:岩手日報社広告局広告部「いわて三陸復興フォーラムin名古屋係」へ。
 メールの場合は、名前、郵便番号、住所、電話番号及び「ウィルあいち参加」と明記の上、fukkou@iwate-np.co.jpへ。

*応募の個人情報は、岩手県及び岩手日報社が聴講券の発送、フォーラム受付のために使用します。

「いわて三陸復興フォーラムin名古屋 参加申し込み書」

(所属)

(氏名)

(職名)

(電話番号)

(郵便番号)

(住所)